

第5次射水市行財政改革大綱(案)

骨子

第5次射水市行財政改革大綱（案） 骨子

1 大綱策定の考え方

本大綱では、これまで本市が進めてきた、「長期的な課題を踏まえた『量』の改革と『質』の改革の両立」といった行財政改革の視点を引継ぎつつ、新しいデジタル技術を効果的に活用しながら、市民生活の満足度を向上させていく。併せて、庁内業務においては、限られたマンパワーの中で高い生産性を発揮できる環境を構築し、市役所自体の変革につなげる取組を進めていくものとする。

人口減少を始めとした社会経済情勢の変化を見据えながら、健全で持続可能な行財政基盤を堅持し、総合計画に掲げる施策を着実に推進するため、第5次射水市行財政改革大綱を策定する。

2 大綱の章立て

第1		策定の趣旨	
第2		策定の背景	
	1	これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「量」と「質」の改革の両立 ・コロナ後を見据えた「新しい行政」へのチャレンジ
	2	本市を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の推移（少子高齢化） ・財政事情（市税、健全化判断比率、基金残高等） ・ICT技術の進展 ・公民連携の推進 ・職員体制
第3		基本姿勢	
	1	基本理念	「多様な価値観に対応できる柔軟な行財政基盤の確立（仮）」
	2	基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な主体との連携による良質な行政サービスの提供 2. 効率的で効果的な行財政運営 3. 財政基盤の堅持
第4		推進方法	
	1	策定	第5次射水市行財政改革集中改革プランの策定
	2	推進期間	令和5年度から令和9年度（5年間）
	3	推進体制	現在と同（推進本部会議⇔推進会議）
	4	進捗管理	現在と同（毎年度の見直し、進捗状況報告）

3 策定スケジュール

年 月	会 議 等	内 容
令和5年5月16日	行革推進本部会議	第5次大綱骨子案（基本方針）の審議
令和5年5月22日	行革推進会議	//
令和5年6月		第5次プラン庁内照会
令和5年7月	行革推進本部会議	第5次大綱・プランの審議
令和5年8月	行革推進会議	//
令和5年9月	市議会9月定例会	第5次大綱・プランの提出

基本方針 取組項目	第4次（R1～R4）4年 R1年9月策定	取組 数
基本方針1	協働・共創による質の高い行政経営の推進	
取組項目1	市政情報の共有と協働・共創によるまちづくりの充実	7
取組項目2	ICT（情報通信技術）の有効活用と効果的な 市民サービスの提供	14
取組項目3	民間活力によるサービスの向上	2

	第5次（R5～R9）5年	取組 数
	多様な主体との連携による良質な行政サービスの提供	
	市政情報の共有と協働・共創によるまちづくりの充実	
	公民連携によるサービスの維持・向上	
	D Xの推進による市民生活満足度の向上	

基本方針2	効率的・戦略的な財政運営	
取組項目1	事務事業の効率化・適正化	9
取組項目2	公共施設マネジメントの促進と資産・債務の適正化	15
取組項目3	自主財源の確保及び創出	8
取組項目4	公営企業の経営健全化	7

	効率的で効果的な行財政運営	
	市役所D Xを含む事務事業の効率化・適正化	
	職員の能力向上と意識改革	
	適正な職員定数と様々な課題に柔軟に対応できる組織運営	

基本方針3	職員と組織の質の向上	
取組項目1	職員の能力及び意欲向上の推進	3
取組項目2	時代の変化に対応した弾力的な組織体制の構築	2
取組項目3	職員定数及び給与の適正化	3

	財政基盤の堅持	
	自主財源の確保及び創出	
	公営企業の経営健全化	

目標

『将来を見据えた経営基盤の確立と自立した都市の実現』

基本理念

『多様な価値観に対応できる柔軟な行財政基盤の確立』（仮）